

日本学術会議主催

公開シンポジウム「Future Earth 時代の WCRP (仮題)」(案)

1. 主 催: 日本学術会議環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS (IWD) 合同分科会
2. 共 催: フューチャー・アースの推進に関する委員会 (予定)
3. 後 援: 日本地球惑星科学連合, 日本気象学会, 日本海洋学会他 (予定)
4. 日 時: 平成 29 年 7 月 28 日(金) 13:00~18:00
5. 場 所: 日本学術会議講堂 (予定; 臨時総会開催の場合は都内他会場で開催)
6. 分科会の開催: 同日 10:00~11:30
7. 開催趣旨:

WCRP (World Climate Research Programme: 世界気候研究計画) は, 1980 年の発足以来, 国際科学会議 (ICSU), 世界気象機関 (WMO), 及び政府間海洋学委員会 (IOC) の支援の下, 気候に関する国際的な研究を推進してきた。2011 年開催の Open Science Conference を機に組織改革がなされ, 現在では 4 つのコア研究プロジェクトとそれらを横断する 7 つの Grand Challenge 課題が設置され, 気候系の自然変動のみならず, 人為起源による地球温暖化や環境変化の実態把握やそのメカニズムの解明, さらに気候系の将来予測など, 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) の評価報告書にも大きな貢献をしつつ, 持続可能な社会の発展の礎としての社会的・政治的意思決定の根拠となる科学的知見を提供するというミッションを担っている。一方で, WCRP を取り巻く環境は大きく変化している。2013 年に ICSU の下で, 社会のステークホルダーを強く意識しつつ, 持続可能な社会を目指す超学際研究を推進する Future Earth (FE) が開始され, WCRP と関連の深かった ICSU 傘下の地球圏-生物圏国際共同研究計画 (IGBP) などがそのコアプロジェクトに統合された。FE のコアプロジェクトには入らず, そのパートナーとして歩むこととなった WCRP の現状を踏まえ, その進むべき将来の方向性について, FE との連携の在り方も含めて多角的に議論を深めるのが本シンポジウムの目的である。シンポジウムにおいては, WCRP の活動に深く関わる研究者や FE の推進に関わる研究者による講演を基に, 気候研究に関わる多くの研究者や大学院生の参加を得て, 活発な議論を期待したい。

8. 次第：

司会：張 勁（連携会員：富山大学）

13:00-13:05 開催挨拶・趣旨説明 — 中村 尚（第三部会員：東京大学）

13:05-13:10 来賓挨拶 — 文部科学省*

13:10-13:30 世界気候研究計画（WCRP）の設立意義と現状 — 木本昌秀（東京大学）

13:30-13:45 WCRP コアプロジェクトⅠ：CLIVAR — 見延庄士郎（北海道大学）

13:45-14:00 WCRP コアプロジェクトⅡ：SPARC — 佐藤 薫（連携会員：東京大学）

14:00-14:15 WCRP コアプロジェクトⅢ：CliC — 榎本浩之（国立極地研究所）

14:15-14:30 WCRP コアプロジェクトⅣ：GEWEX — 松本 淳（連携会員：首都大学東京）

14:30-14:50 WCRP と世界気象機関（WMO） — 鬼頭昭雄（連携会員：筑波大学）

14:50-15:10 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）への WCRP からの貢献

— 河宮未知生（JAMSTEC）

（休憩）

司会：三枝信子（連携会員：国立環境研究所）

15:25-15:45 地球圏-生物圏国際協同研究計画（IGBP）と WCRP の連携

— 植松光夫（特任連携会員：東京大学）

15:45-16:05 Future Earth と WCRP との連携（Ⅰ）

— 安成哲三（連携会員：総合地球環境学研究所）

16:05-16:25 Future Earth と WCRP との連携（Ⅱ） — 山形俊男（連携会員：JAMSTEC）

16:25-16:45 Future Earth と WCRP との連携（Ⅲ）

— 春日文子（連携会員：FE グローバルハブ事務局）

16:45-17:05 持続可能な開発目標（SDGs）への WCRP の関わり

— 沖 大幹（連携会員：東京大学・国連大学）

17:05-17:25 WCRP と社会との関わり — 江守正多（連携会員：国立環境研究所）

17:25-17:40 WCRP の将来 — 中島映至（連携会員：JAXA 地球観測研究センター）

17:40-17:55 総合討論

17:55-18:00 閉会挨拶 — 花木啓祐*（第三部会員・日本学術会議副会長：東京大学）

*調整中